

精神病床等に関する検討会開催要綱

1. 趣旨

社会保障審議会障害者部会精神障害分会が平成14年12月19日に公表した報告書「今後の精神保健医療福祉施策について」においては、「入院医療主体から地域における保健・医療・福祉を中心としたあり方へ転換する」という基本的な考え方にに基づき、具体的な施策の進め方を提言している。同報告書では、精神医療のあり方について、諸外国に比べ精神病床数が多いこと、精神病床数に地域偏在がみられること、最近の精神科診療所の増加傾向等の実情や、精神病床の機能分化が成熟していないこと等を踏まえ、精神医療における地域医療のあり方、精神病床の機能分化等の課題について、検討会を設置して検討を進める必要があるとしているところである。

このため、有識者等からなる検討会において、これらの課題について検討を行う。

2. 検討課題

- 1) 地域医療における精神医療のあり方
- 2) 精神病床の役割と機能分化等のあり方
- 3) 地域の精神保健医療の体制について、医療計画に記載することが望ましい事項
- 4) 精神病床の基準病床数算定式のあり方
- 5) 精神病床の人員配置基準のあり方、等

3. 座長・副座長

検討会に座長、その補佐を行う者として副座長を置くものとする。座長は委員の中から互選により、副座長は座長の指名により選出するものとする。

4. 会議

- 1) 検討会は座長が必要に応じて召集する。
- 2) 検討会は必要に応じて小委員会を開催して検討を行うことができる。

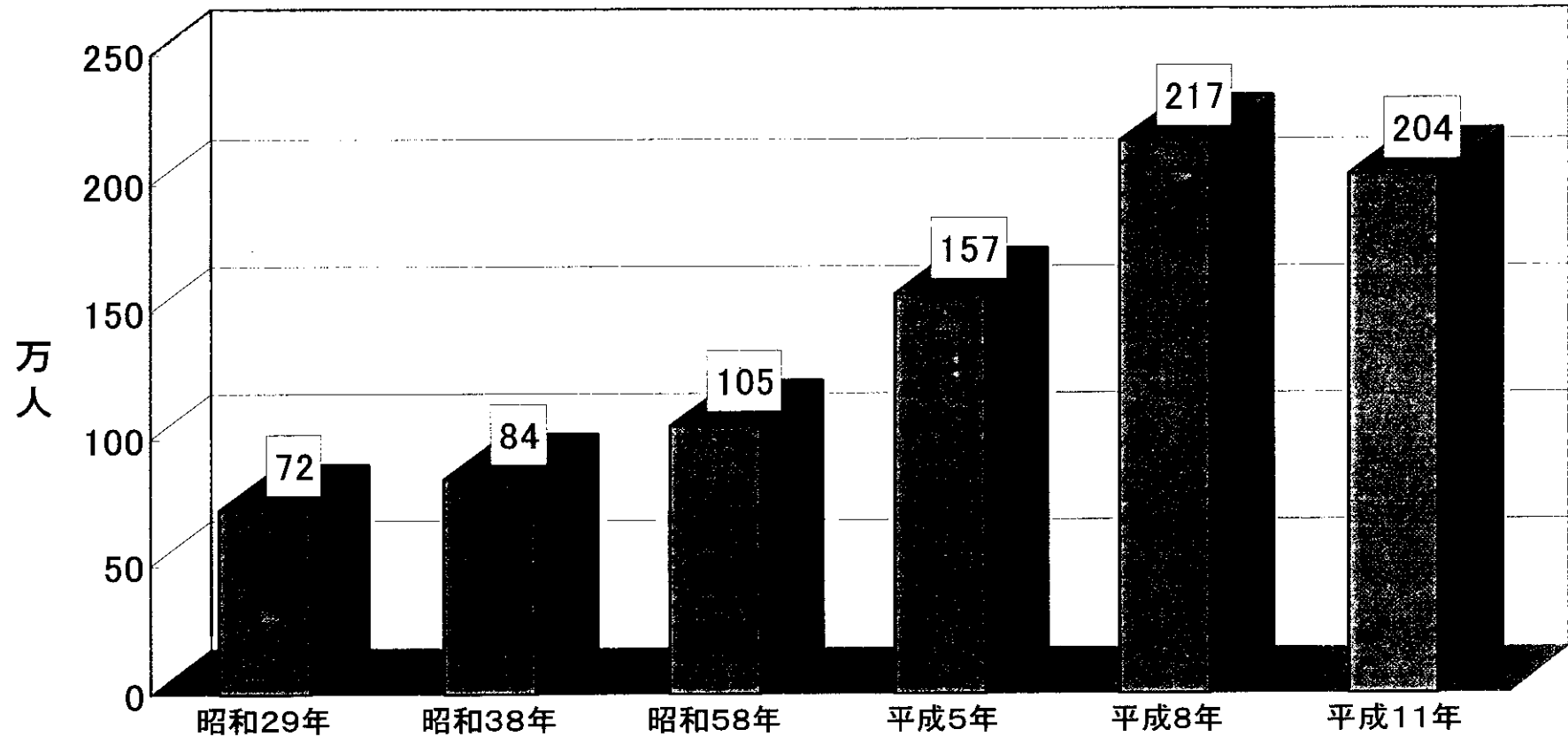
5. 参考人

座長は、必要に応じて意見を聴取するため、参考人を招へいすることができる。

6. その他

- 1) 当検討会は原則として公開とする。
- 2) 当検討会の事務局は障害保健福祉部精神保健福祉課が行う。

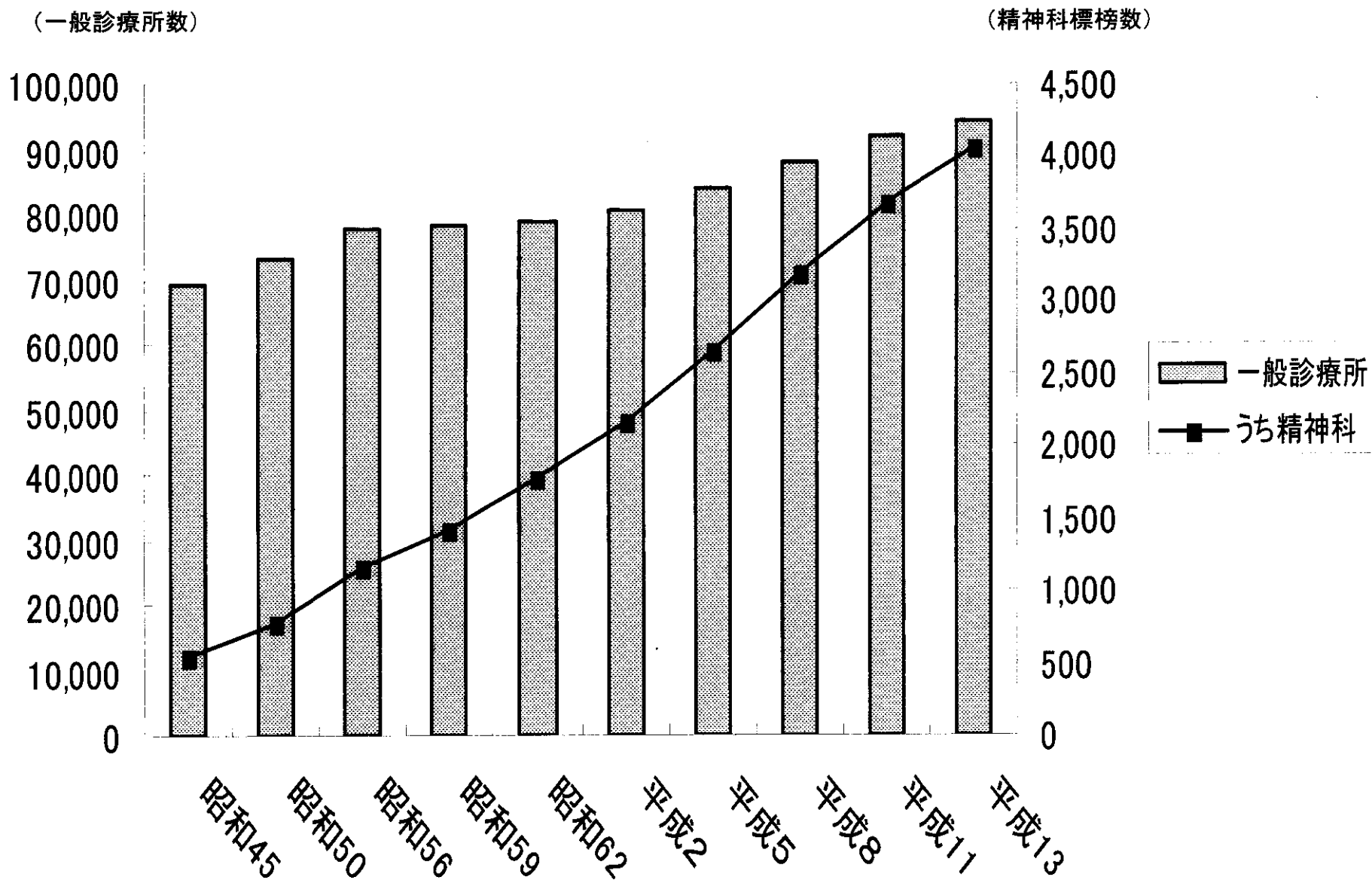
# 精神疾患により受療している者の数の推移



入院患者数: 34万人 33万人

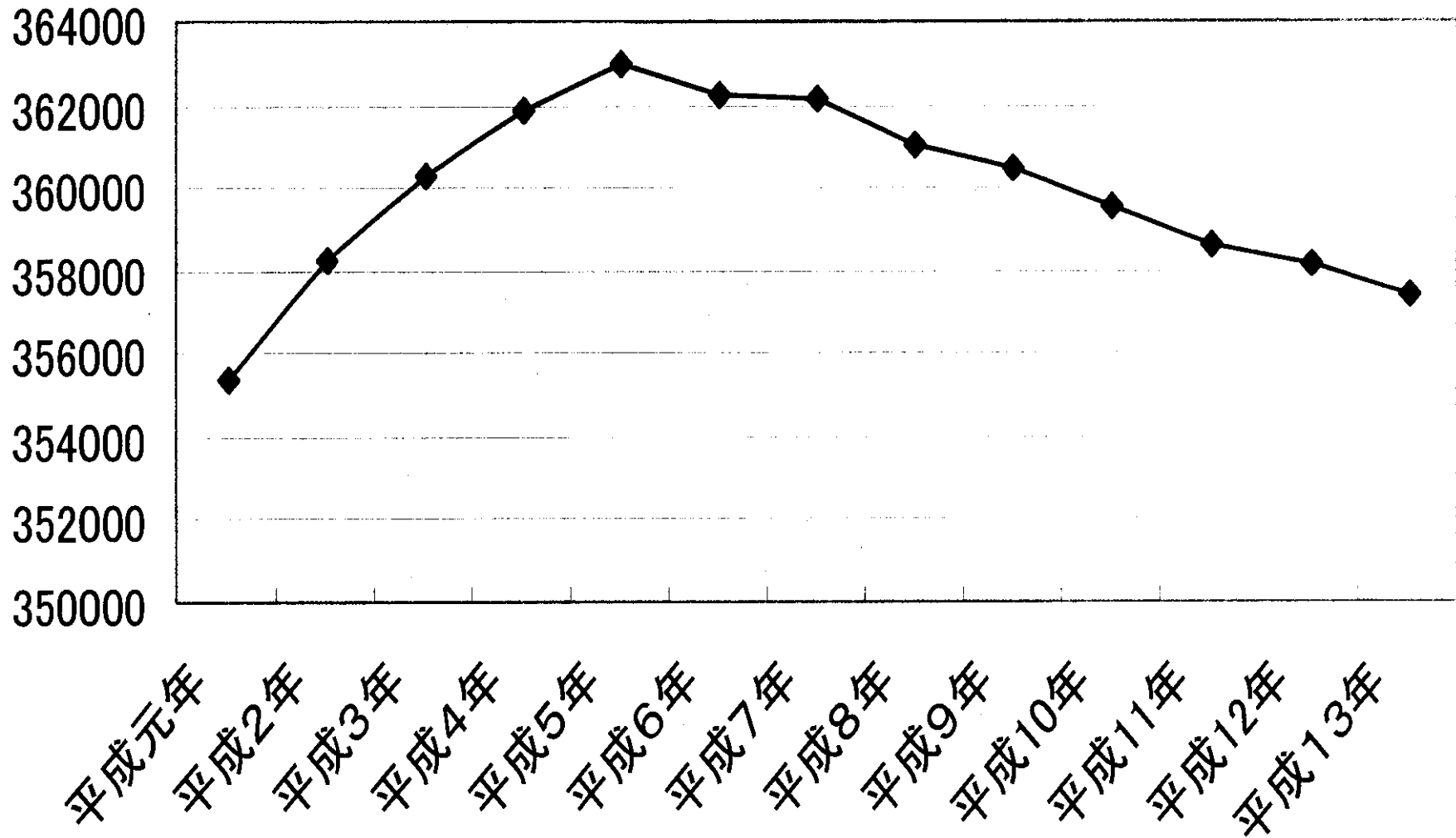
(注)昭和29, 38年は、精神衛生実態調査(実態調査結果から知的障害者を除外)  
昭和58年は、昭和48年精神衛生実態調査の比率を掛けている  
平成5, 8, 11年は、患者調査による総患者数

# 診療所数の推移



資料: 厚生労働省 医療施設調査

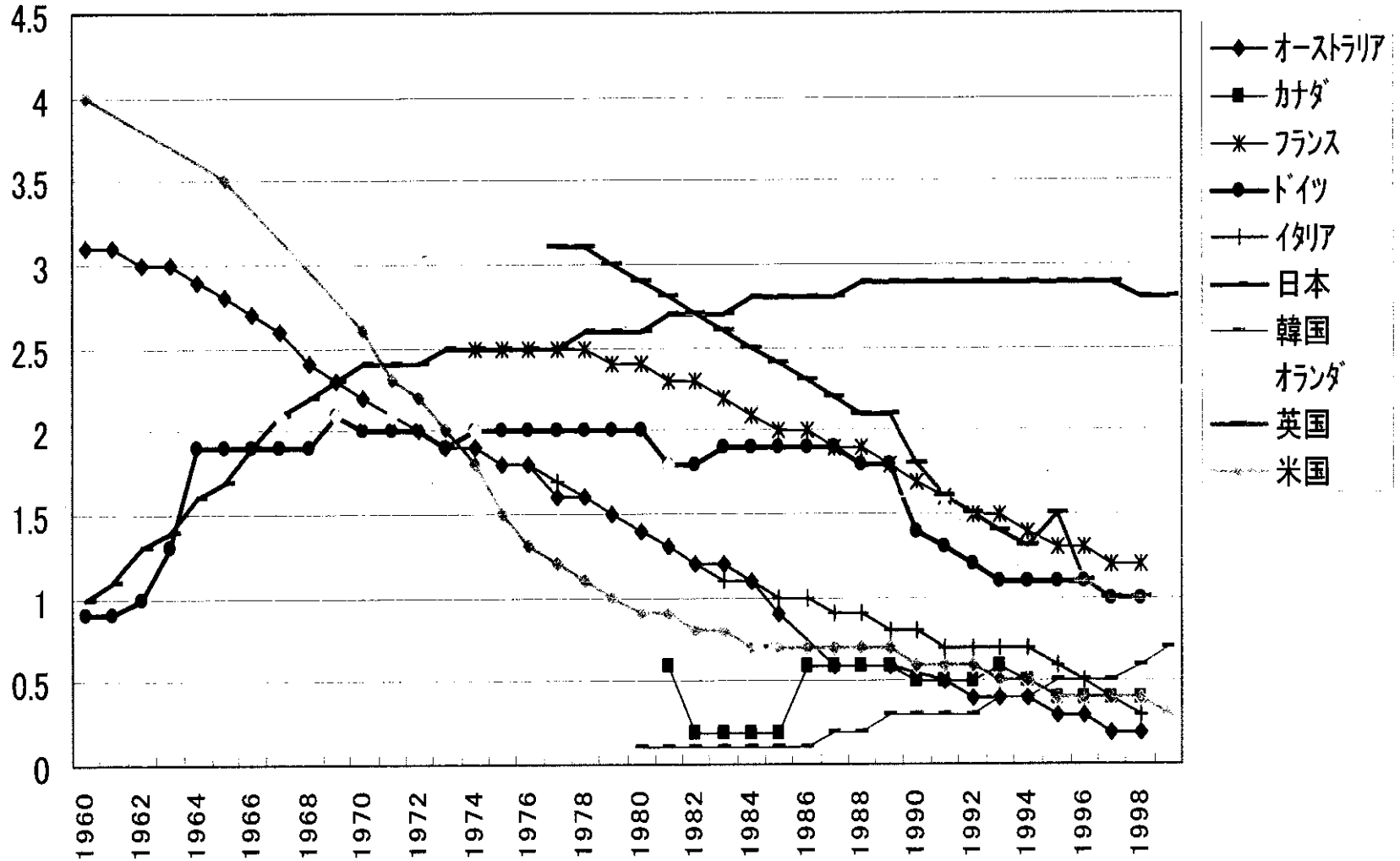
# 精神病床数の推移



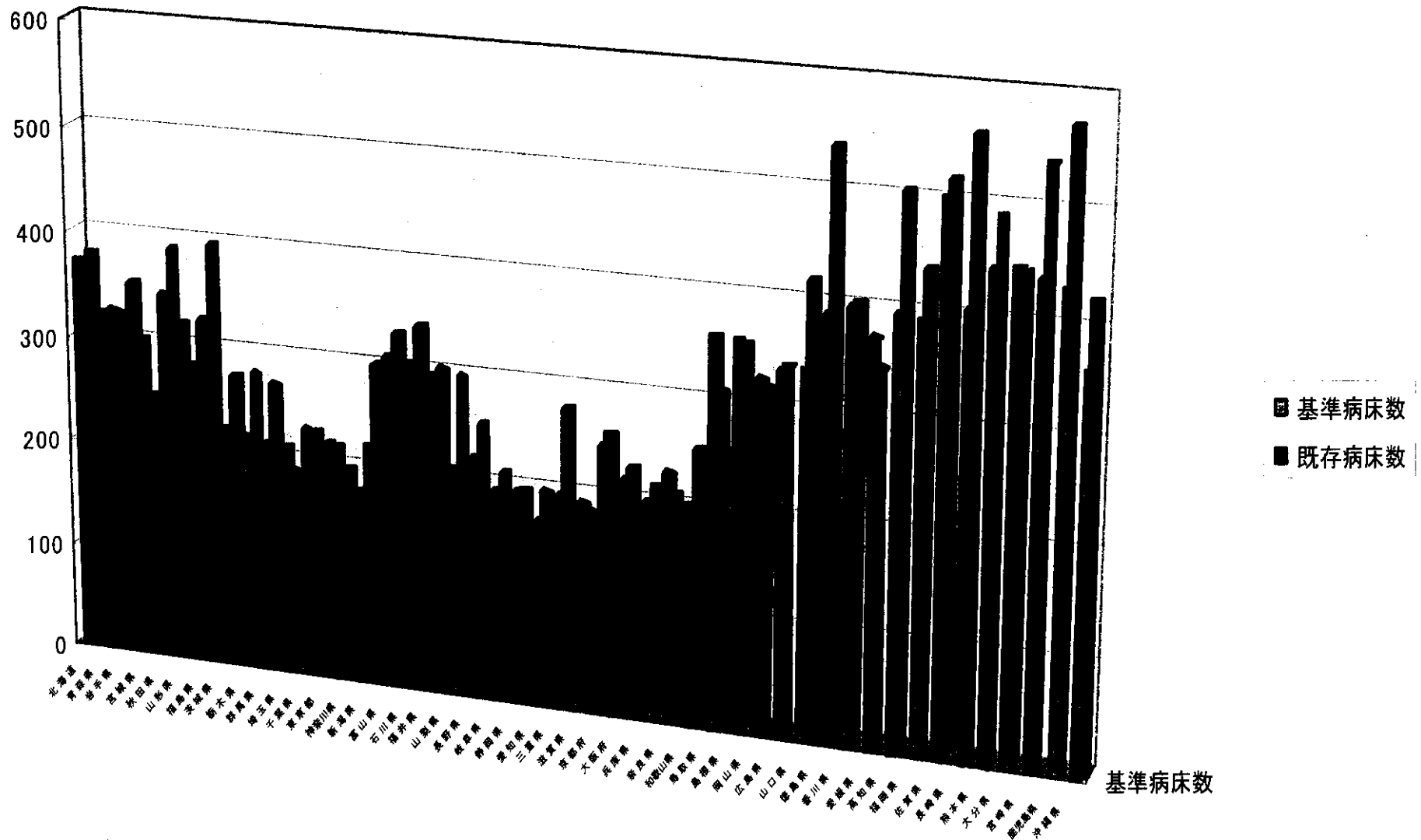
資料：病院報告

# 精神病床数の推移 (OECD)

(床/千人)



OECD Health Data 2001



都道府県別医療計画における基準精神病床数及び既存病床数の状況  
(人口10万対)

都道府県別医療計画における人口10万人対の基準精神病床数及び既存病床数の状況

人口10万人あたり

(H14厚生労働省調査+H14推計人口)

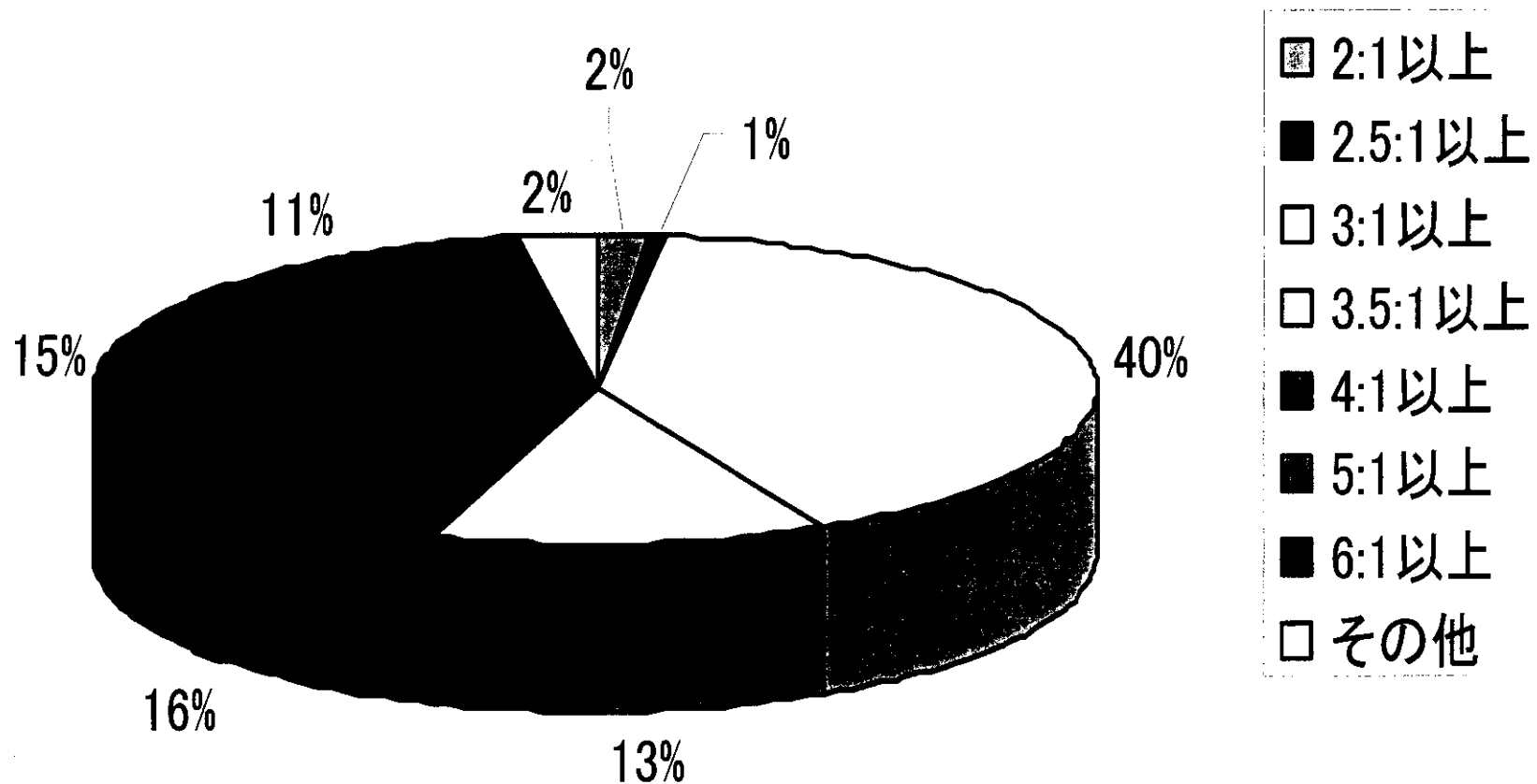
番号	区分	精 神 病 床			
		基準病床数	既存病床数	過剰病床数	非過剰病床数
1	北海道	372	374	1	
2	青森県	324	320	0	△ 5
3	岩手県	324	348	24	
4	宮城県	303	243	0	△ 60
5	秋田県	346	384	38	
6	山形県	320	277	0	△ 43
7	福島県	326	391	65	
8	茨城県	225	269	44	
9	栃木県	220	274	54	
10	群馬県	216	265	50	
11	埼玉県	216	185	0	△ 31
12	千葉県	234	225	0	△ 9
13	東京都	223	212	0	△ 11
14	神奈川県	202	172	0	△ 31
15	新潟県	225	296	70	
16	富山県	311	326	15	
17	石川県	308	335	27	
18	福井県	299	297	0	△ 1
19	山梨県	213	293	80	
20	長野県	225	251	25	
21	岐阜県	198	207	10	
22	静岡県	198	193	0	△ 5
23	愛知県	173	194	20	
24	三重県	201	275	74	
25	滋賀県	195	181	0	△ 14
26	京都府	252	256	4	
27	大阪府	222	226	4	
28	兵庫県	205	211	6	
29	奈良県	233	207	0	△ 26
30	和歌山県	207	251	44	
31	鳥取県	363	307	0	△ 56
32	島根県	360	351	0	△ 9
33	岡山県	327	315	0	△ 13
34	広島県	337	337	0	
35	山口県	339	415	76	
36	徳島県	393	535	143	
37	香川県	401	400	0	△ 1
38	愛媛県	375	342	0	△ 33
39	高知県	398	501	103	
40	福岡県	395	434	39	
41	佐賀県	505	514	10	
42	長崎県	408	556	148	
43	熊本県	445	486	41	
44	大分県	450	439	0	△ 11
45	宮崎県	441	536	95	
46	鹿児島県	434	568	134	
47	沖縄県	363	420	58	
	平均	268	280	20	△ 8

## 病床別の医療体制の違い（人員配置・設備構造基準）

	精神病床	療養病床	一般病床
定義	精神疾患を有する者を入院させるための病床をいう。	主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための病床をいう。	精神病床、結核病床、感染症病床、療養病床以外の病床をいう。
人員配置基準	<p>①大学附属病院ならびに内科、外科、産婦人科、眼科及び耳鼻咽喉科を有する100床以上の病院</p> <p>医師 16:1 看護職員 3:1 薬剤師 70:1</p> <p>②上記以外の病院</p> <p>医師 48:1 看護職員 4:1 薬剤師 150:1</p> <p>（ただし当分の間、看護職員5:1、看護補助者と合わせて4:1とすることができる）</p> <p>経過措置（5年間）看護職員6:1</p>	<p>医師 48:1 看護職員 6:1 看護補助者 6:1 薬剤師 150:1</p>	<p>医師 16:1 看護職員 3:1 薬剤師 70:1</p> <p>経過措置（へき地の病院または従前の「その他の病床」200床未満の病院） （5年間）看護職員 4:1</p>
病床面積	6.4㎡/床以上 既設：4.3㎡/床以上	6.4㎡/床以上	6.4㎡/床以上 既設：4.3㎡/床以上
廊下幅	<p>①の病院</p> <p>1.8m以上（両側居室2.1m） 既設1.2m以上（両側居室1.6m）</p> <p>②の病院</p> <p>1.8m以上（両側居室2.7m） 既設1.2m以上（両側居室1.6m）</p>	<p>1.6m以上（両側居室2.7m） 既設1.2m以上 （両側居室1.6m）</p>	<p>1.8m以上（両側居室2.1m） 既設1.2m以上 （両側居室1.6m）</p>

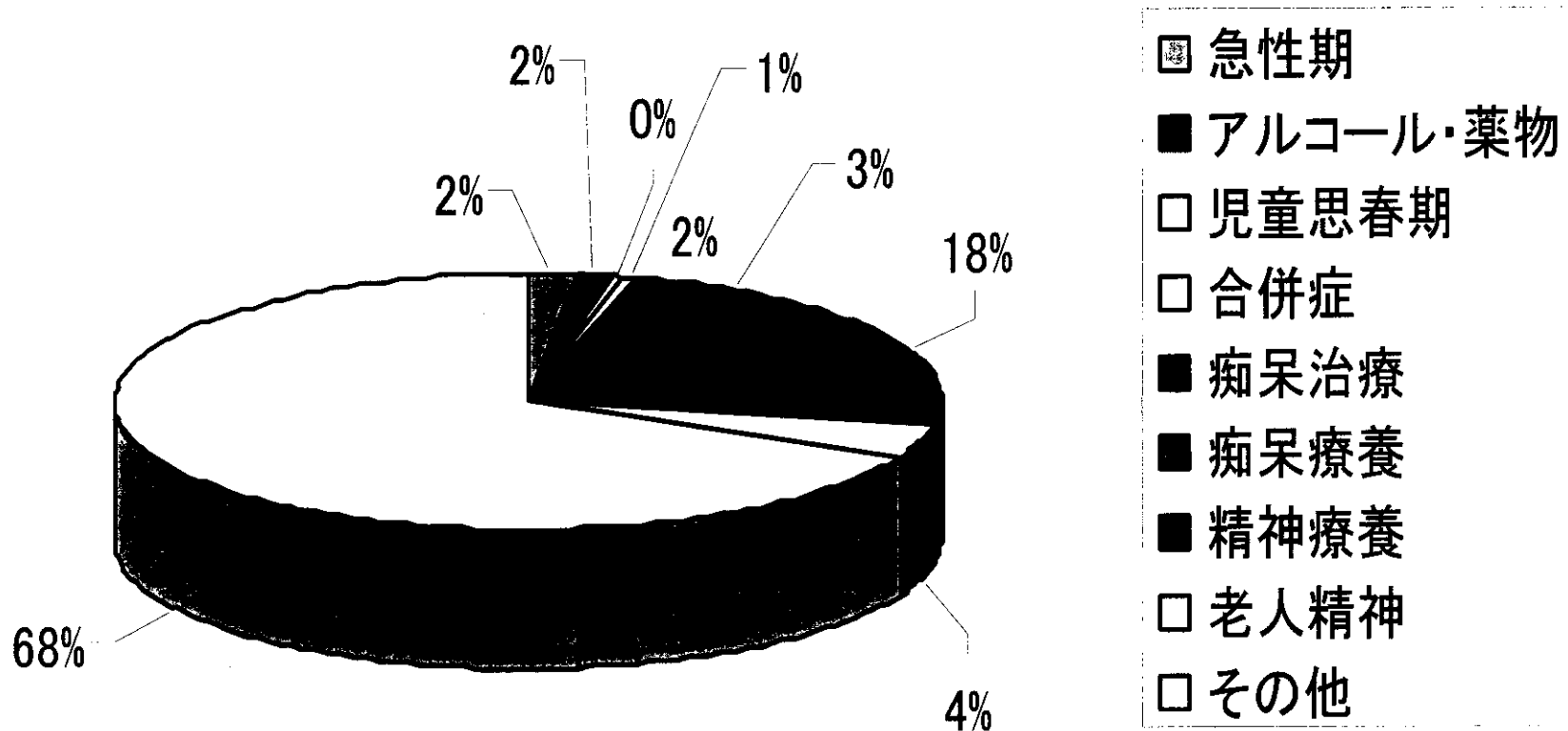


# 看護職員配置の状況(病院数の構成割合)



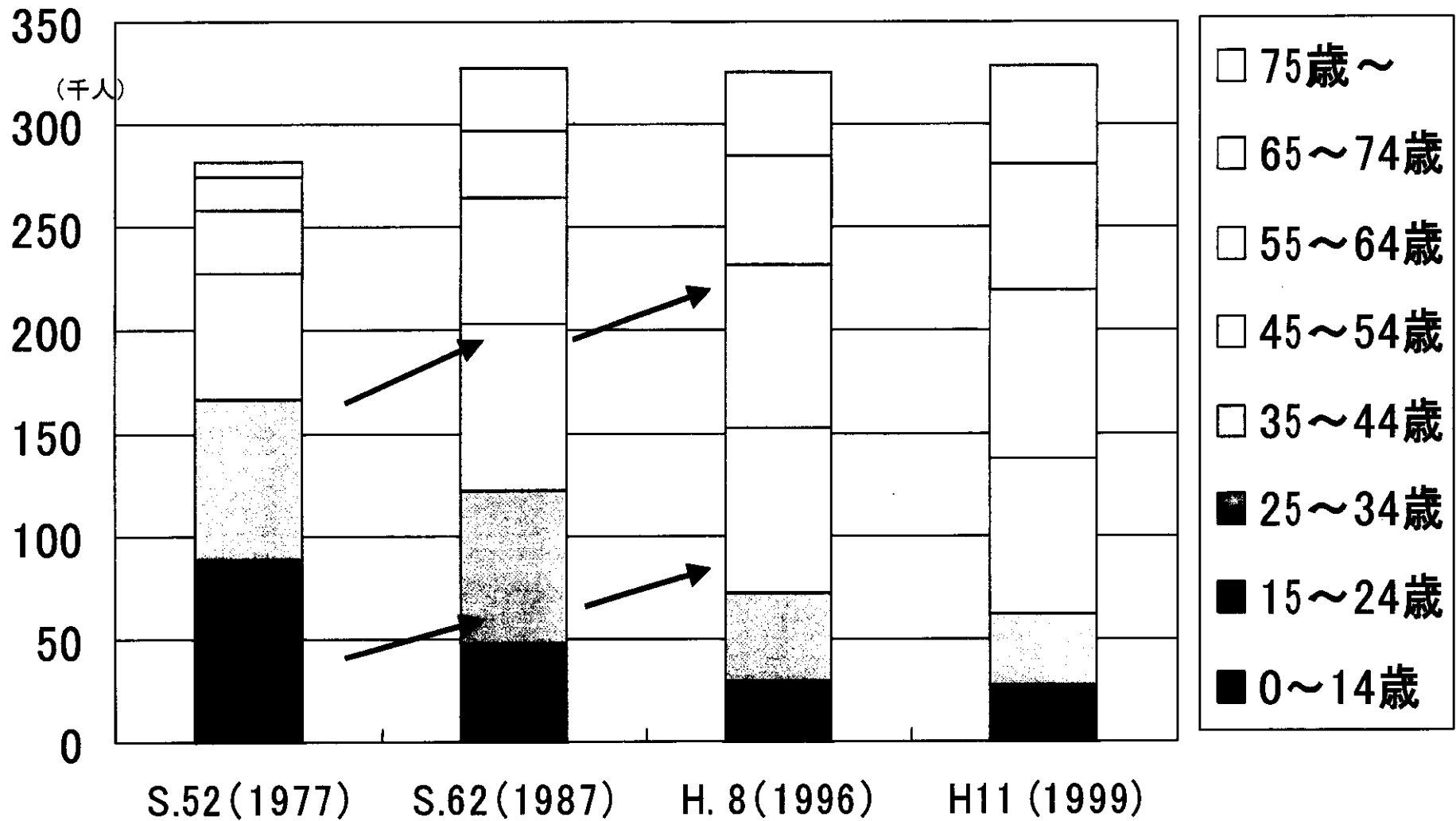
平成12年6月末現在。精神保健福祉課調べ。  
入院基本料の状況に基き作成。

# 専門病棟等の状況(病床数の構成割合)



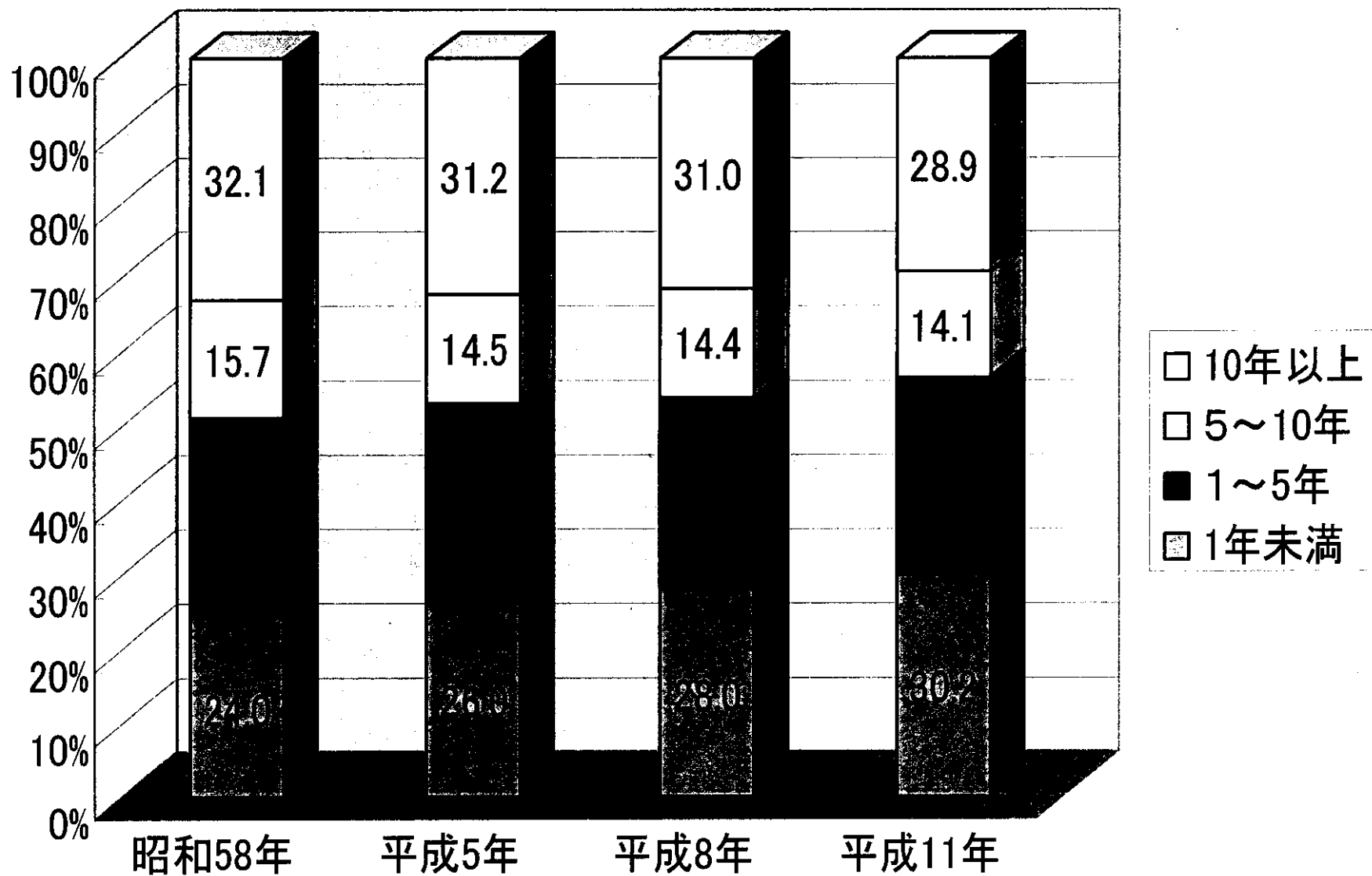
平成13年6月末現在  
精神保健福祉課調

# 年齢階級別推計入院患者数



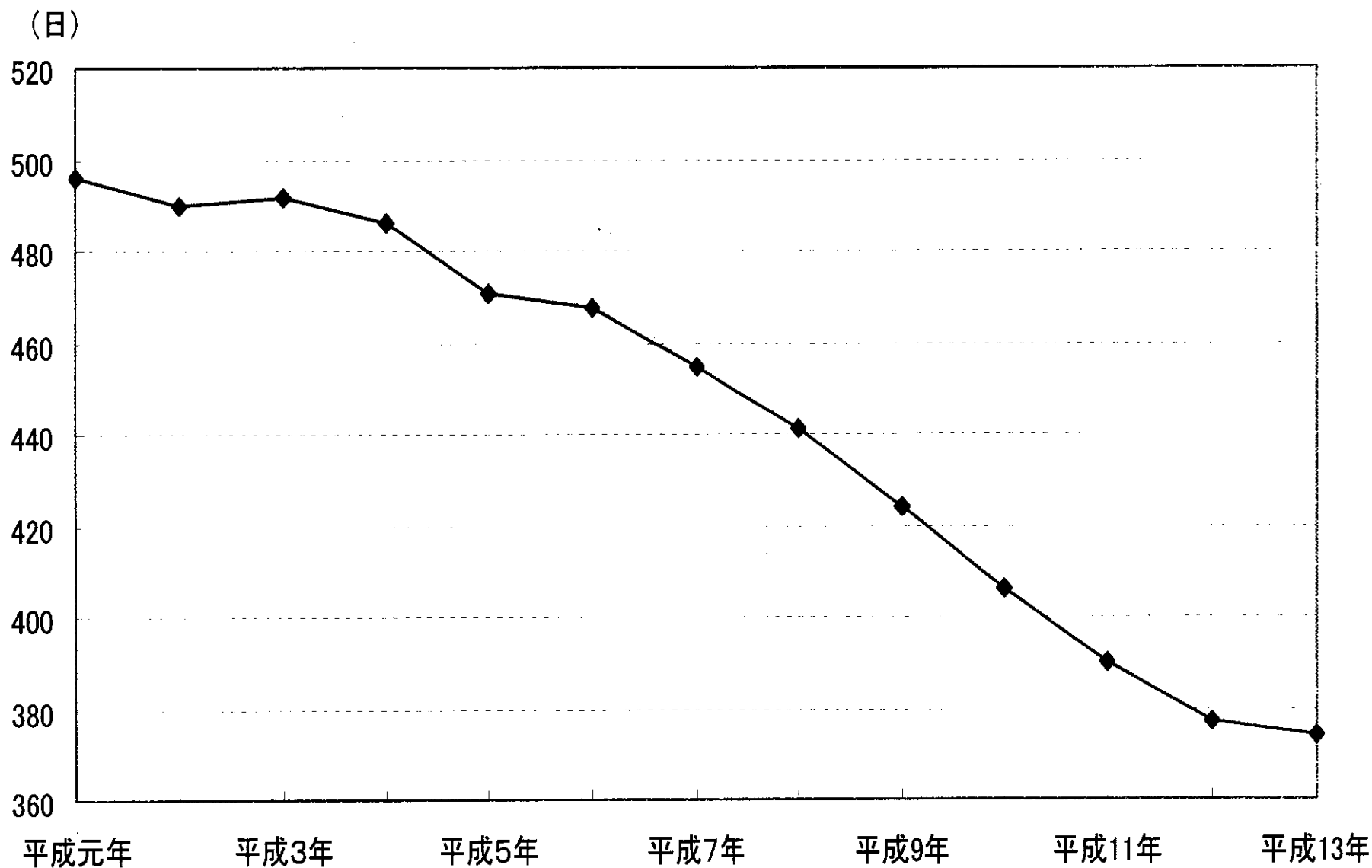
資料：厚生労働省 患者調査  
 S52.62は精神障害による入院患者数  
 H8, 11年は精神病床の入院患者数

# 精神障害による入院患者の入院期間別分布



資料:厚生労働省 患者調査

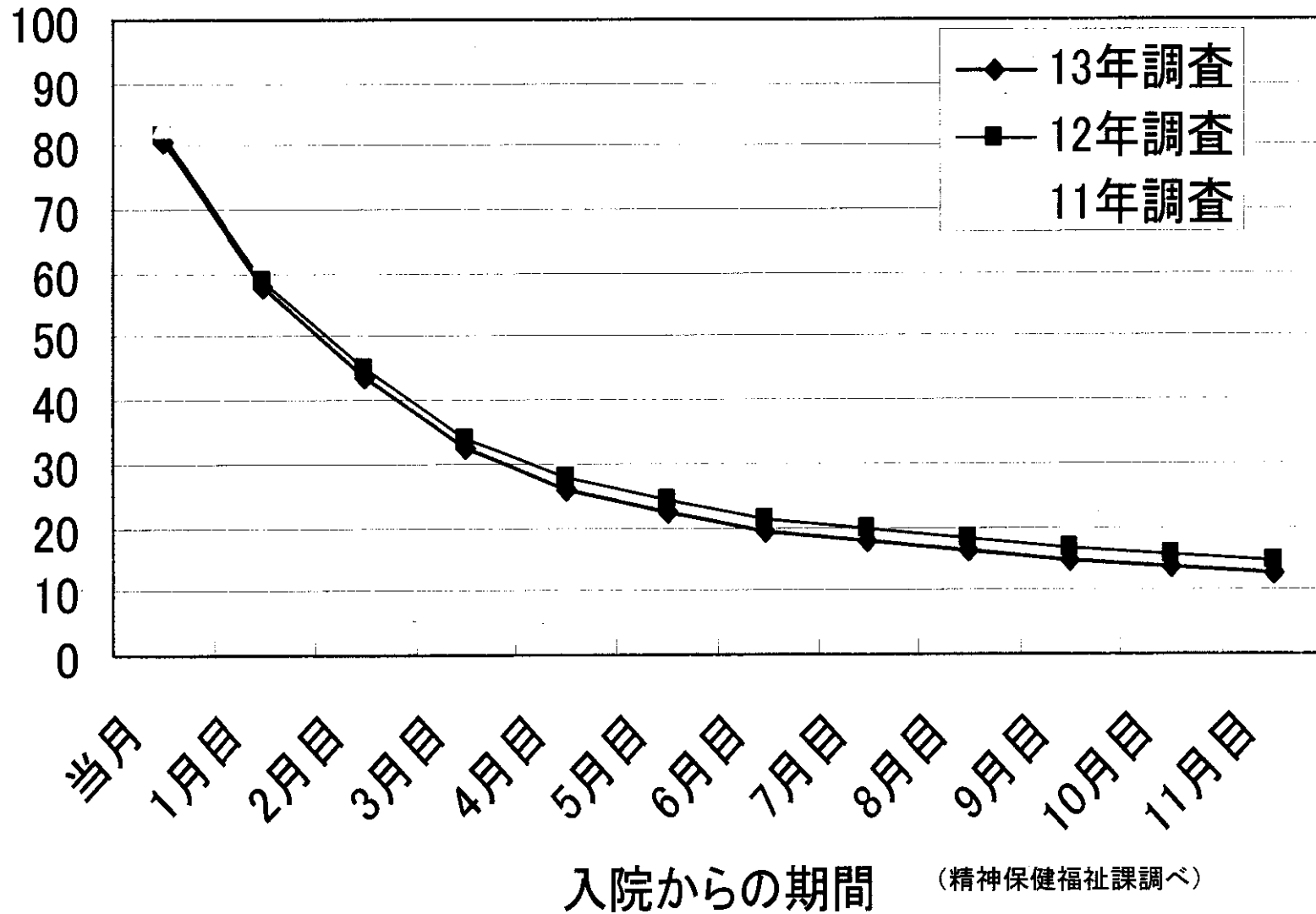
# 精神病床の平均在院日数の推移



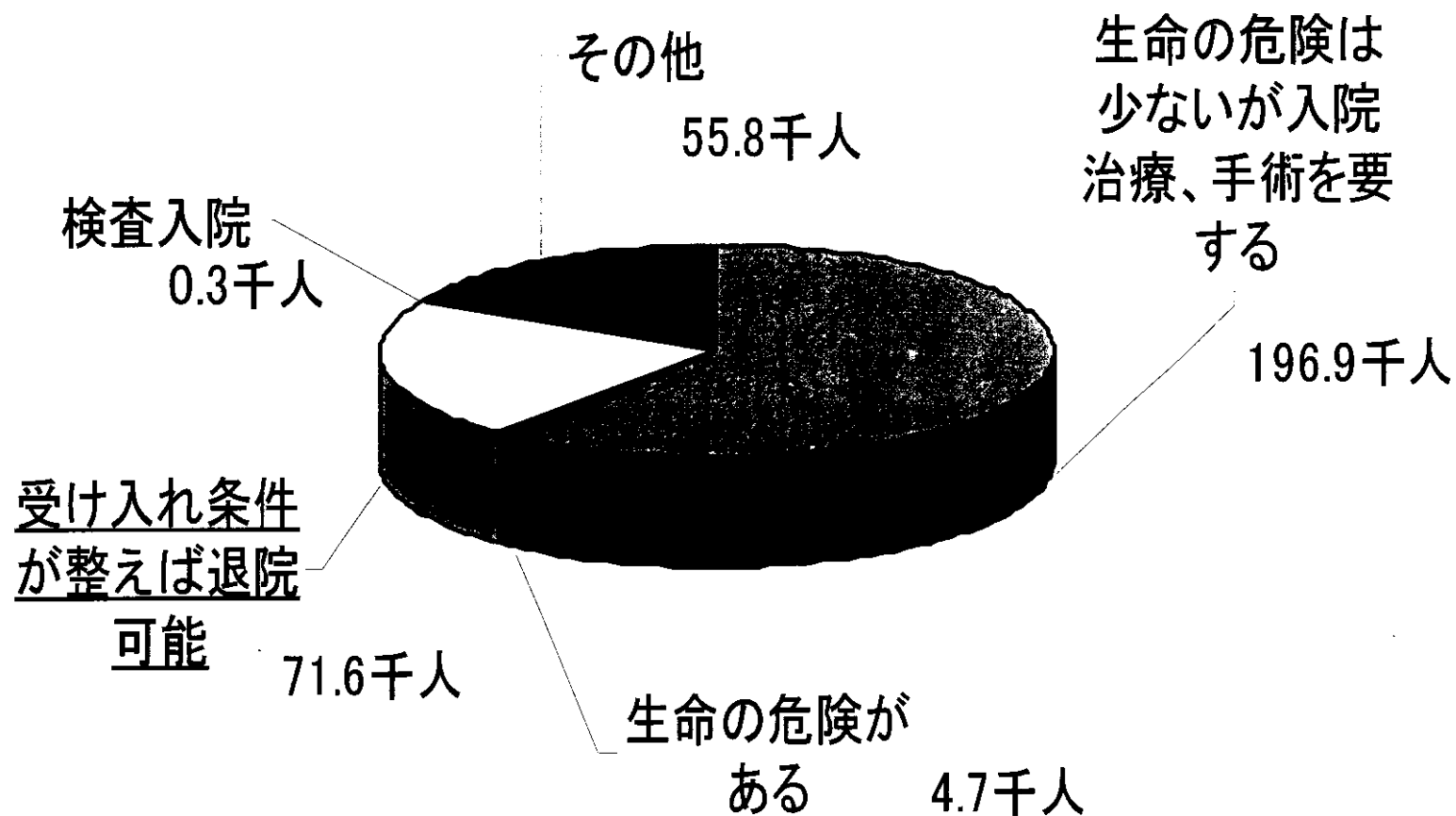
資料: 厚生労働省 病院報告

# 新入院患者の残存曲線

(%)



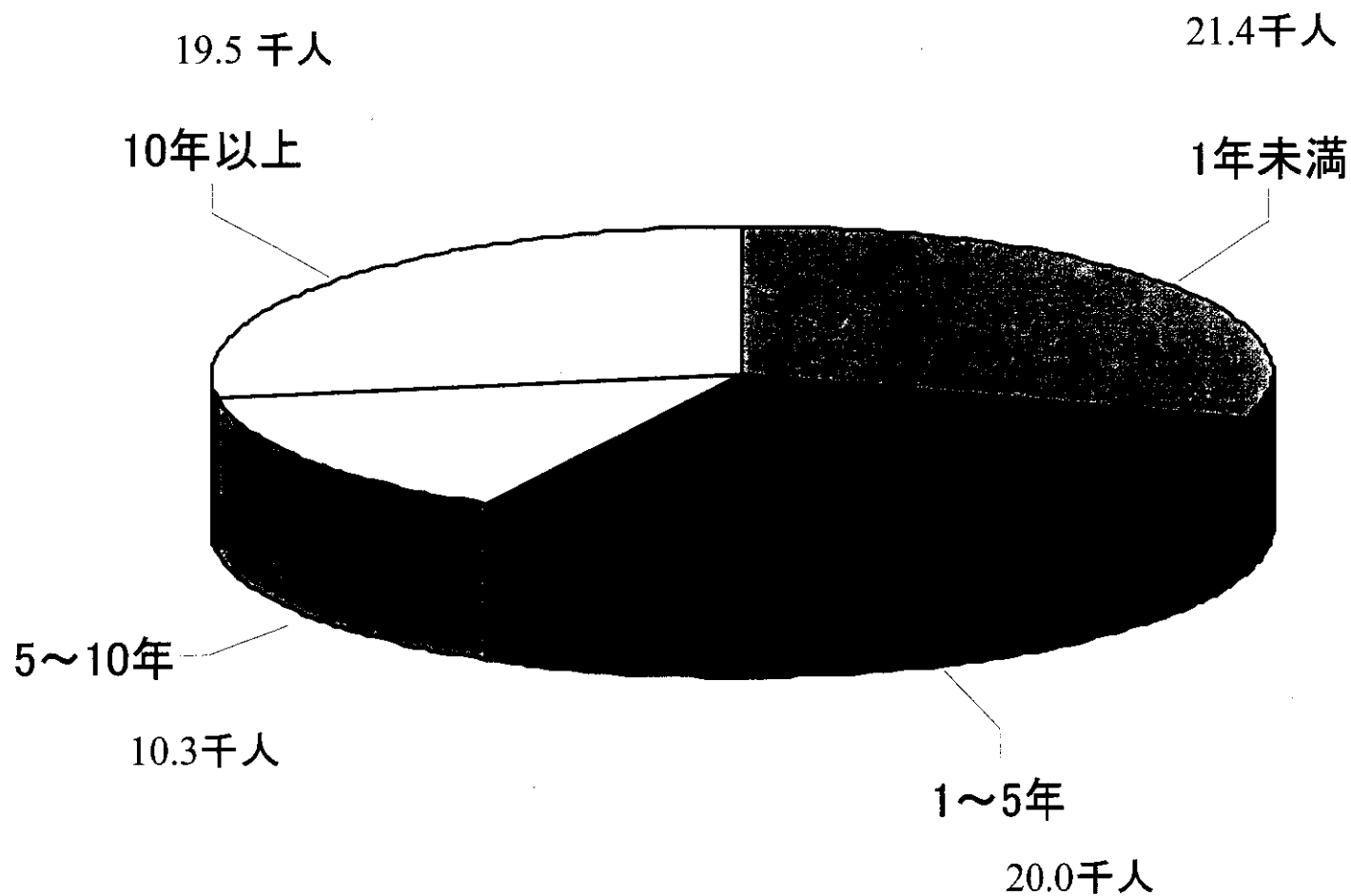
# 精神病床入院患者の状況



合計 約 33万人

資料:厚生労働省患者調査(平成11年)

# 「受入条件が整えば退院可能」者の入院期間

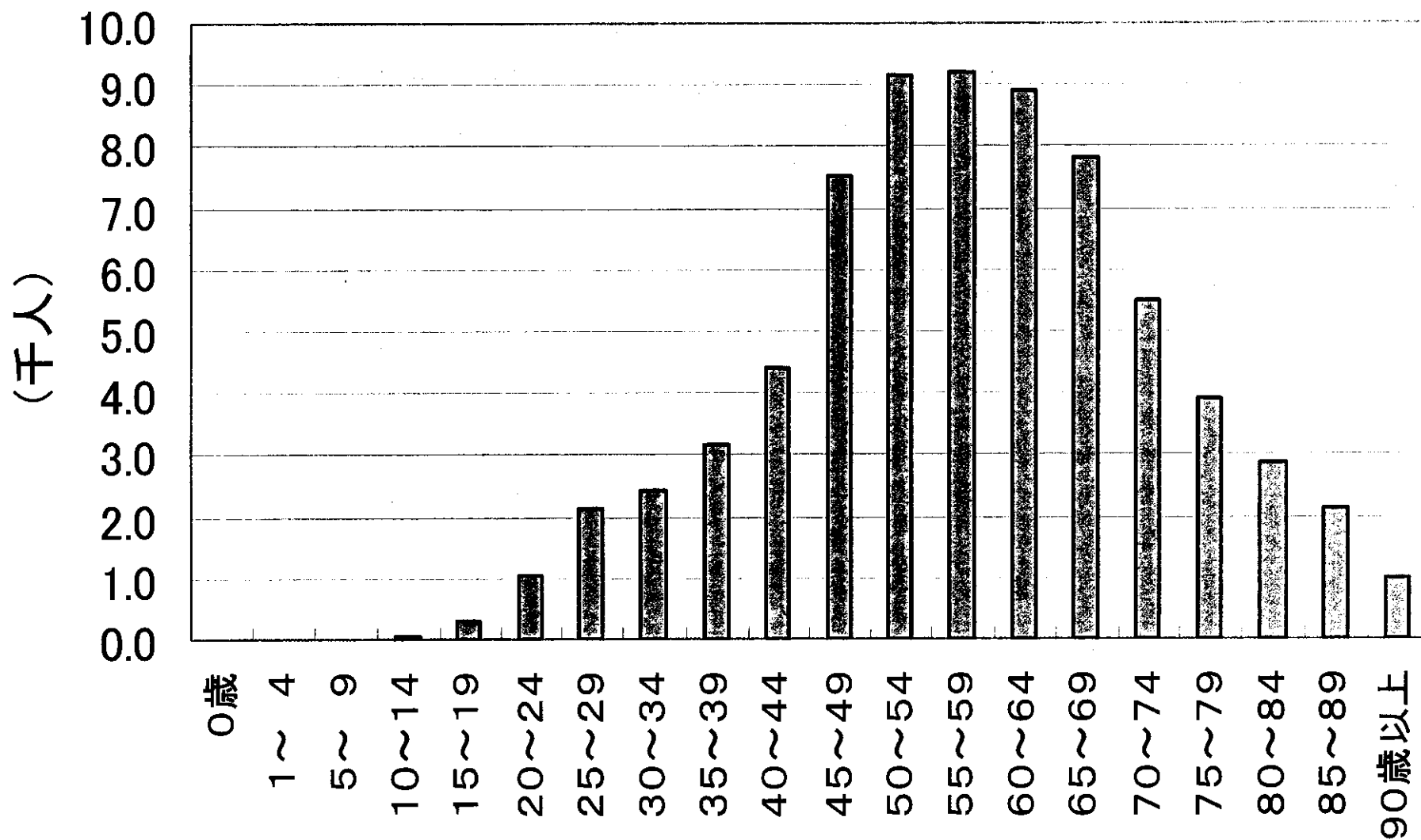


合計 7.2万人

資料:厚生労働省患者調査(平成11年)

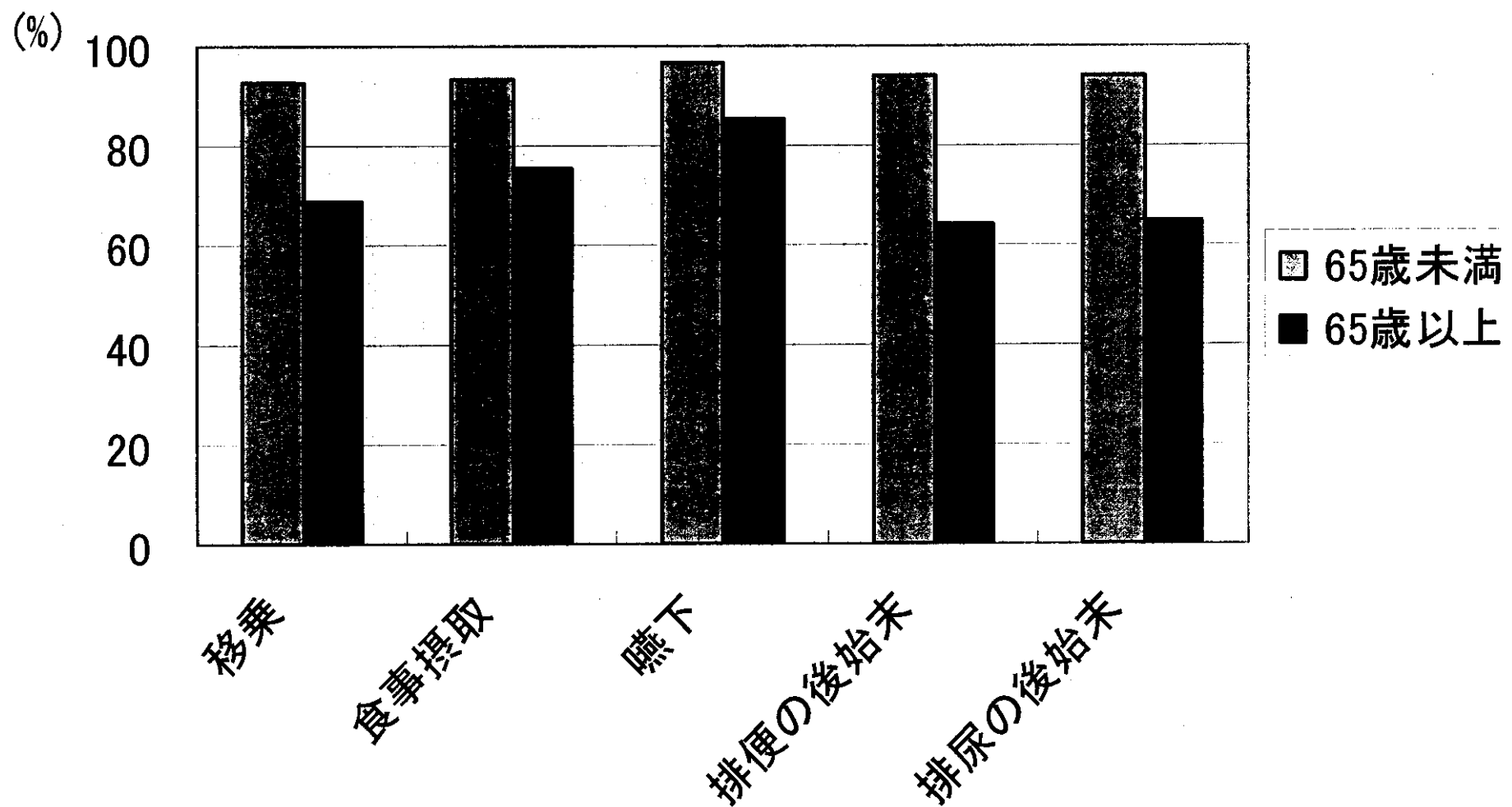


# 「受入条件が整えば退院可能」者の年齢構成



資料：厚生労働省患者調査（平成11年）

# 「受入条件が整えば退院可能」者で日常生活自立の割合



資料:厚生労働省患者調査(平成11年)